

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北アルプスワインバレー<ハウスワインツーリズムの郷づくり>
事業主体 (連絡先)	ハウスワインツーリズム研究会 大町市大町2194-1
事業区分	農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	560,838 円 (うち支援金: 357,000 円)

事業内容

ハウスワインツーリズムの栽培拠点となるぶどう畑を整備した。

- ・圃場工事 4月
- ・ぶどう苗木植え付け体験 5月
- ・既存ぶどう畑での収穫体験 9月
(ぶどう畑と北アルプスの美しい風景を知ってもらう)
- ・9月に収穫したぶどうの醸造先ワイナリー見学と醸造途中のワイン試飲
(大町市産ワインぶどうのポテンシャルの高さを知ってもらう)
- ・植え付け体験・収穫体験では大町市産の食材を使った弁当を堪能してもらい、好評を得た。
- ・12月 「地域をみなおす、うごかす。」信州アカデミア(信大COC)事業において成果発表

- ① 大町市社の遊休農地31アール減少
- ② 農家サポーター21人増加
- ③ ハウスワインツーリズム研究会の活動が、新聞に掲載されたことで、大町市のワインぶどうが注目されるようになった。
(中日新聞、日経新聞)
- ④ ③に関するブログ、Facebook、Twitterのアクセス数の増大



【ぶどう苗木植え付け体験】

【目標・ねらい】

- ① 遊休農地の減少
- ② 農家サポーターの増加
- ③ 北アルプスとぶどう畑の美しい景観をアピール
- ④ 大町市産ワインぶどうのポテンシャルを知ってもらう。

※自己評価【 B 】

【理由】

・遊休農地にぶどう植えたぶどうが育ち、農地がよみがえった。また、新聞に掲載されたことで、活動が広く知られるようになった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・次年度も栽培体験を実施し、本年度以上の参加者を集めたい。
そのために、長野ワイン応援団、観光協会との連携を進める。
- ・「ハウスワイン特区」が認定されることを見越して、醸造施設の計画を進める。